

mont·bell

取扱説明書

インフレータブル ライフチューブ

Inflatable Life Tube

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

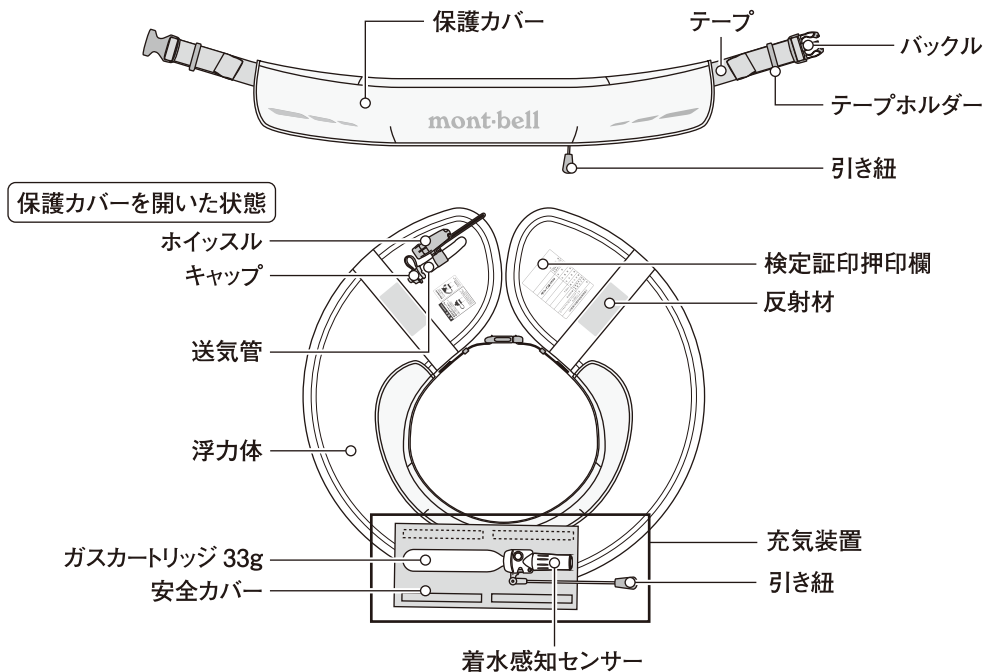
ただし本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものであり、日々のご使用においては自主点検が必要です。本製品の機能が正しく発揮されるために、安全な条件のもとで少なくとも一度は練習を行い、正しい使用方法を習得されることをお勧めします。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は、作業用、小型船舶用の膨脹式救命胴衣（国土交通省型式承認品：TYPE A、桜マーク付き）です。国土交通省の船舶設備規程、小型船舶安全規則に適合しており、漁ろう作業や船外作業時、または小型船舶の乗船時に着用できます。軽量で動きやすく、着用時の動きを妨げにくくなっています。膨脹した浮力体は安定感に優れる形状で、落水時に楽な姿勢で呼吸できるようサポートします。

■ 各部の名称



1

■ 規格 検定証印（桜マーク）は本製品の浮力体に押印されています。

- 国土交通省型式承認 作業用救命衣（小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの）（膨脹式）
- 胴衣の分類 TYPE A
- 浮力性能（膨脹時）15.0kg

⚠ 注意

本製品の浮力体は手動膨脹、自動膨脹の2通りの方法で作動します。着水感知センサーによる浮力体の自動膨脹は、補助的な機能です。

自動膨脹機能は緊急事態の備えとし、引き紐を引くことで膨脹する手動機能を基本操作としてください。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

⚠ 危険

人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品は作業用救命衣（小型船舶用救命胴衣兼用）です。ご使用時は関連法令に従って使用してください。
- 本製品はカヌー、カヤックなどのウォータースポーツや、水遊び用に設計されていません。これらの用途に使用しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 水上は常に潜在的な危険をはらんでいます。たとえ用具の正しい選択、使用、お手入れ、保管を行なっても傷害や死亡事故などに至る危険性を完全に排除することはできません。本説明書をよくお読みになり、ご理解いただいた上で使用してください。（株）モンベルでは本製品の誤った使用に起因する損害や傷害、死亡事故に対していかなる責任をも負いません。
- 本製品は後述の着用方法と対象サイズをよくお読みの上、着用してください。サイズが合っていない場合は、水中に落ちた際に本製品が脱げる恐れがあり大変危険です。
- 本製品は12歳未満のお子さまに使用しないでください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。また、国土交通省型式承認品と認められなくなります。
- 浮力体から充気装置を取り外さないでください。本来の性能が発揮できません。
- 本製品は、着用者が常に水に濡れるような状況で使用しないでください。着水感知センサーが作動し、予期せぬ瞬間で浮力体が膨脹する恐れがあり危険です。
- 本製品の手動膨脹機能の作動は、引き紐を右手で引く必要があります。ご使用の際は注意してください。
- 本製品の上に重いものを置いたり、鋭利なものを近づけないでください。浮力体や充気装置が破損する恐れがあります。
- 充気装置を作動させた場合は、必ずガスカートリッジ（別売）を交換してください。
- 着水感知センサーが水に濡れて作動した場合は、必ず着水感知センサー（別売）を交換してください。
- 本製品の着用前に鋭利なものなどは体から外してください。浮力体を損傷し性能を発揮できない恐れがあります。
- 膨脹させた本製品を着用したまま水中に飛び込む際は、両手で本製品をしっかりと抱き、体に密着させた状態で飛び込んでください。本製品が体から外れる恐れがあります。また、飛び込む高さは3m以下としてください。
- 水中で浮いている際は、本製品を破損させる恐れのあるものに近づかないでください。浮力体が破損し浮力を失う恐れがあり危険です。
- 本製品を火気に近づけないでください。浮力体や充気装置が破損すると本来の性能を発揮できません。

2



警告

場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品は必ず着衣の一番上に着用してください。衣服の下に着用すると、浮力体が膨らまず本来の性能を発揮できません。
- 本製品は意識のある着用者が救助を受ける際に、頭部が水上に浮かぶよう浮力を補助するものです。状況により、水中で姿勢や浮力体の調節をする必要があります。着用者が意識不明の時は顔が水面に浸かって呼吸ができなくなる恐れがあります。また、泳げない方のご使用はお勧めしていません。
- 使用前は必ず点検をしてください。正しく使用されていても素材の経年劣化により強度や機能は低下していきます。老朽化が認められる場合や摩耗や破損のはげしいもの、機能の低下を感じられたり、疑わしい場合には直ちに本製品の使用を中止して新しい製品に買い替えてください。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。
- 本製品を使用する際は、浮力体を正しい収納方法で折り畳んでください。浮力体の誤った収納は、正常に浮力体が膨らまない可能性があり、大変危険です。
- ガスカートリッジの交換の際は、炭酸ガスを吸い込まないように注意してください。
- 本製品の着用時は、絶対に引き紐を保護カバーの内部に収納しないでください。
- ガスカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用の「交換用ガスカートリッジ 33g」を使用してください。容量が異なるもの、容量が同じでも他社製品は絶対に使用しないでください。正しく作動しない恐れがあります。
- 本製品は固型式のライフジャケットに備えられている保温、衝撃からの保護の機能はありません。これらの機能を必要とする流水などでの使用は絶対にしないでください。



注意

人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 浮力体の生地にはワッペンやステッカーなどを取り付けしないでください。浮力体が膨張しなくなる恐れがあります。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。



注意

点検結果に1つでも不具合がある場合は、使用を中止してください。

全体

- ☐糸がほつれたり、切れたりしていないか
- ☐保護カバー、テープが破損していないか
- ☐バックルが変形、破損していないか
- ☐汚れや変色、劣化がないか
- ☐ホイッスルが鳴るかどうか
- ☐ベルクロがしっかりと留まるかどうか

浮力体

- ☐生地に傷、穴、摩耗などによる破損がないか
- ☐内部に空気が入っていないか
- ☐溶着部に剥がれがないか
- ☐反射材が損傷していないか
- ☐検定証印などの表示が確認できるか

送気管

- ☐亀裂、ゆるみ、破損がないか
 - ☐送気管の口にキャップが取り付けられているか
 - ☐内部のバネが正しく作動するか
- P.7の「浮力体の空気の抜き方」の⑧を参照してください。

充気装置 P.9の「ガスカートリッジ(別売)、着水感知センサー(別売)の交換方法」を参照してください。

- ☐損傷や変形がないか
- ☐ロックピンが装着されているか
- ☐手動レバーが正しい位置にあるか
- ☐安全カバーに劣化が無い
- ☐引き紐に摩耗や劣化がないか
- ☐着水感知センサーが装着されているか

(ガスカートリッジ)

- ☐本製品専用の「交換用ガスカートリッジ33g」が装着されているか
- ☐未使用品が装着されているか
- ☐サビ、損傷、変形がないか
- ☐充気装置本体に奥までねじ込まれているか

(着水感知センサー)

- ☐未使用品が装着されているか(インジケーターの色が緑かどうか)
- ☐充気装置本体に奥までねじ込まれているか
- ☐損傷、変形がないか
- ☐使用期限が過ぎていないか

期限内でも状況によって経年劣化が進んでいる場合があります。疑わしい場合は交換してください。
使用開始後、1年を目安に交換することをお勧めします。



注意

点検後は下記 2 点を必ず確認してください。問題がないことを確認した上で使用してください。

- ☐浮力体が正しい畳み方で収納されているか
- ☐引き紐が外に出ているか

■ 定期点検

一定の期間ごとに次のことを確かめてください。

浮力体

- ☐漏洩試験(1年に1回)

P.7の「呼吸による送気方法」を確認し、送気管より息を吹き込み、浮力体を完全に膨らませます。
そのまま24時間以上放置し、空気が抜けていなければ合格とします。試験後は、空気を完全に脱気します。

■ 交換の目安

- 本製品に次の不具合がみられた場合は使用を中止し、新しい製品と交換してください。

製品本体

- ・浮力体が破損、劣化しているとき
- ・送気管が破損、劣化しているとき
- ・テープ、バックルが破損、劣化しているとき
- ・保護カバーが破損、劣化しているとき
- ・油等の汚れで検定証印の表示が見えなくなったとき
- ・糸がほつれたり、切れたとき

充気装置

- ・充気装置本体が破損しているとき
- ・着水感知センサー(別売)は未使用でも使用期限があります。期限内であっても使用、保管の状況によってセンサーが劣化する場合があります。使用開始後、1年を目安に交換することをお勧めします。詳細はP.9の「ガスカートリッジ(別売)、着水感知センサー(別売)の交換方法」をご覧ください。

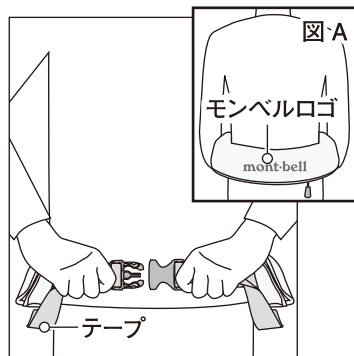
■着用方法

○本製品は次の方が対象です。身長：140cm以上 胸囲：57～105cm

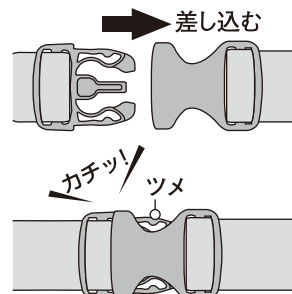
⚠ 必ず着衣の一番上に着用してください。

⚠ 着用前に鍵などの鋭利なものは体から外してください。

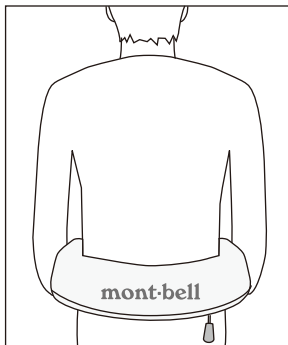
① 本製品を腰に巻きます。モンベルロゴが図 A の向きになるようにします。テープにねじれがないか確認してください。



② バックルを留めます。カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。

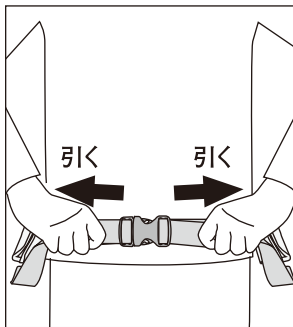


③ 背面のモンベルロゴが背中を中心になるように調節してください。

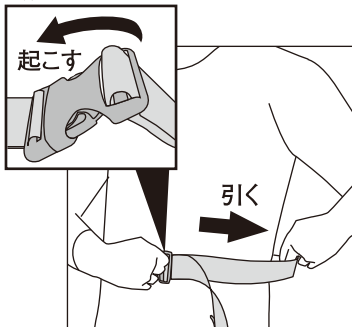


④ 左右のテープを均等に引き、体に密着させます。テープを引きすぎた場合は、下図のように緩めてください。

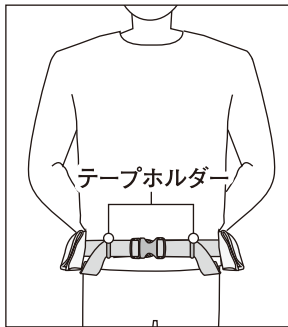
締めるとき



緩めるとき

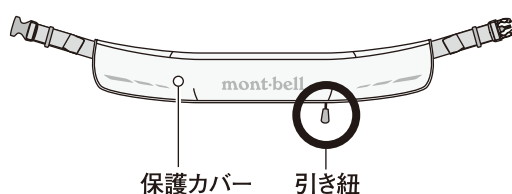


⑤ 余ったテープは垂れ下がらないように、テープホルダーに通してください。



⚠ 確実な調節ができていないと、水中に落ちた際に本製品が脱げる恐れがあり大変危険です。

⚠ 引き紐が保護カバーから出ていることを確認してください。



■浮力体の作動方法

⚠ 注意

本製品の浮力体は手動膨脹、自動膨脹の2通りの方法で作動します。着水感知センサーによる浮力体の自動膨脹は、補助的な機能です。

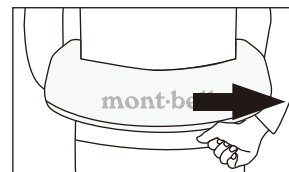
自動膨脹機能は緊急事態の備えとし、引き紐を引くことで膨脹する手動機能を基本操作としてください。

呼気によって膨脹させることも可能ですが、全く膨脹しない場合や、膨脹が不十分なときの補助として利用してください。

○手動膨脹

右手で引き紐を右方向へ強く引いてください。

充気装置内部の撃針が作動し、ガスカートリッジにより浮力体が膨脹します。



⚠ 引き紐は右手で引く必要があります。ご使用の際は注意してください。

○自動膨脹

着水感知センサーに水が浸み込むことで充気装置内部の撃針が作動し、ガスカートリッジにより浮力体が膨脹します。

⚠ 注意 手動、自動膨脹共通

○船上で万一のことが起こった際は、できるだけ浮力体を手動膨脹させてから、水中へ避難してください。

○膨脹させた本製品を着用したまま水中に飛び込む際は、両手で本製品をしっかりと抱き、体に密着させた状態で飛び込んでください。本製品が体から外れる恐れがあります。飛び込む高さは3m以下としてください。

○予期しない落水など、膨脹しない状態で水中に入った際も、自動膨脹機能に頼らずに手動膨脹させてください。

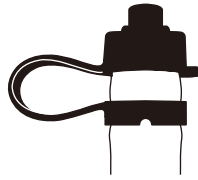
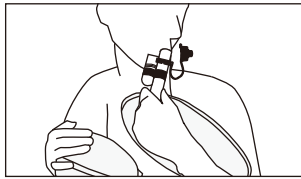
○自動膨脹機能は、着水感知センサーに水が浸み込んでから作動するため、すぐに浮力体が膨脹しないことがあります。

○水中で浮いている際は、本製品を破損させる恐れのあるものに近づかないでください。浮力体が破損し浮力を失う恐れがあり危険です。

○呼気による送気方法

膨脹が不十分な場合は、呼気によって浮力体に送気することができます。
また、万が一、手動、自動膨脹が作動しない場合も以下の方法をとってください。

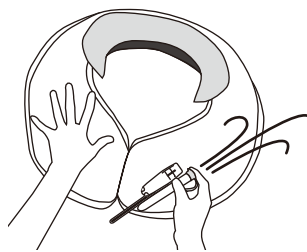
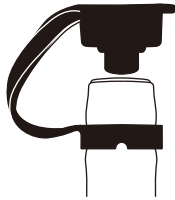
- ①送気管のキャップを外します。
- ②送気管を咥え、息を吹き込みます。
- ③キャップを閉じます。



⚠ キャップは確実に閉じてください。

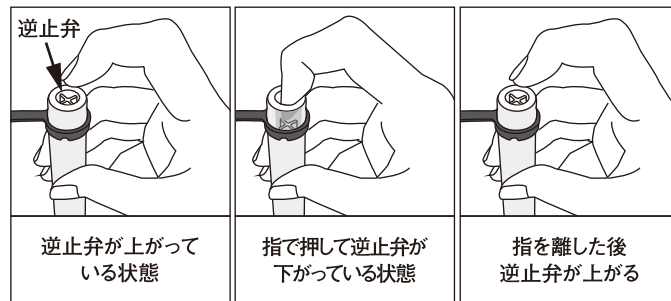
○浮力体の空気の抜き方

- ①送気管のキャップを図のように差し込みます。
- ②キャップを押さえながら、浮力体にやさしく圧力をかけ、空気を抜きます。



- ③脱気後に送気管の十字型の逆止弁を軽く指で押さえ、内部のバネが作動することを確認してください。指で押さえると逆止弁が下がり、指を離すと元の位置に戻ります。

○使用可能

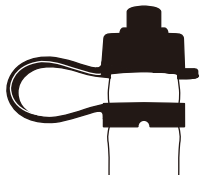


○使用不可



⚠ バネが作動しない場合は、送気管が破損しています。速やかに使用をやめ販売店やモンベル・カスタマーサービスにご相談ください。

- ④キャップを閉じます。



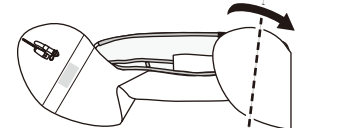
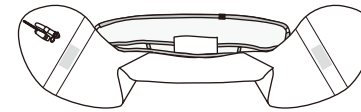
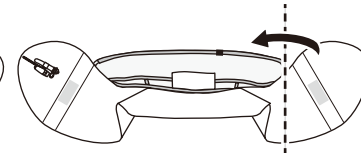
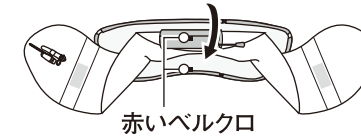
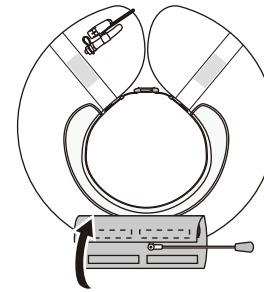
⚠ キャップは確実に閉じてください。

⚠ 必ずキャップを使用して空気を抜いてください。ペンなどキャップ以外のものを送気管に差し込むと、破損する恐れがあります。

■浮力体の収納方法 ※テープは省略して説明しています。

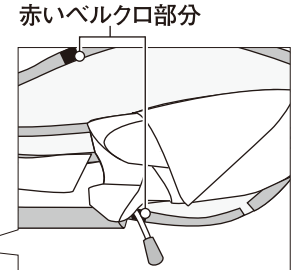
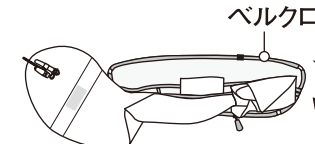
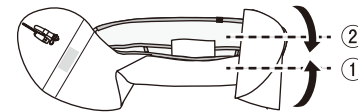
⚠ 浮力体の誤った収納は、正常に浮力体が膨らまない可能性があり、大変危険です。必ず下記の手順に沿って浮力体を保護カバーへ収納してください。

- ①P.7の「浮力体の空気の抜き方」に沿って、浮力体から空気を抜き、安全カバーを閉じます。
- ②安全カバーの赤いベルクロを保護カバーの赤色のベルクロと合わせて留めます。
- ③図の破線の位置で折り畳みます。



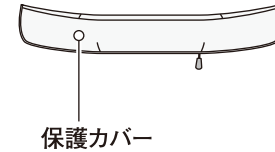
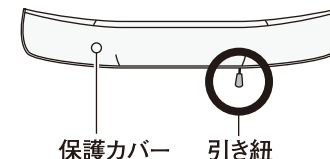
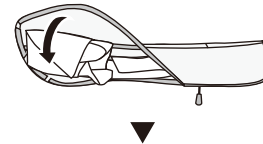
- ④図の破線の位置で①②の順に折り畳みます。

- ⑤ベルクロを留め、保護カバーを向かって右半分のみ閉じます。引き紐は赤いベルクロ部分から出します。保護カバーを黒いベルクロ同士、赤いベルクロ同士が重なるように留めてください。

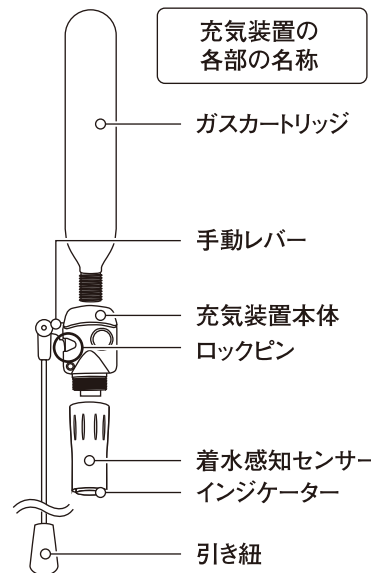


- ⑥向かって左側も同様に折り畳み、保護カバーを閉じます。

- ⑦引き紐が保護カバーから出ていることを必ず確認してください。



■ ガスカートリッジ(別売)、着水感知センサー(別売)の交換方法



- 浮力体は充気装置の作動によって膨脹します。引き紐を引く、または着水感知センサーに水が浸み込むことによって、充気装置本体内部の撃針が作動し、ガスカートリッジからガスが噴出されます。
- 使用前は次項の「各部の作動状態の確認と交換方法」を必ず確認してください。必要に応じて、ガスカートリッジ、着水感知センサー、ロックピンを交換してください。
- ⚠ 一度浮力体を膨らませた場合は、必ずガスカートリッジを交換してください。
- ⚠ ガスカートリッジ、着水感知センサー、ロックピンの交換は必ず本製品専用品を使用してください。他社製品は絶対に使用しないでください。正しく作動しない恐れがあります。
- ⚠ 着水感知センサーは使用期限があります。未使用であっても使用期限を過ぎている場合は、新しいものに交換してください。期限内であっても、使用開始後、1年を目安に交換することをお勧めします。
- ⚠ 各部の交換の際は、充気装置全体を十分に乾かしてください。

○各部の作動状態の確認と交換方法

⚠ 必ず 1 2 3 の手順で確認、交換をしてください。

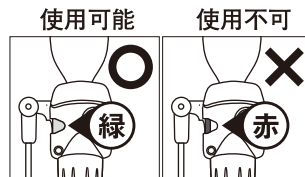
※作動済みの着水感知センサーを充気装置に装着したまま、新しいガスカートリッジを取り付けると、ガスカートリッジの封板に穴が開き、再度交換が必要です。

1 各部の作動状態の確認方法

手動レバー：ロックピン(緑色)が装着され、ヒビや欠けがないことを確認します。

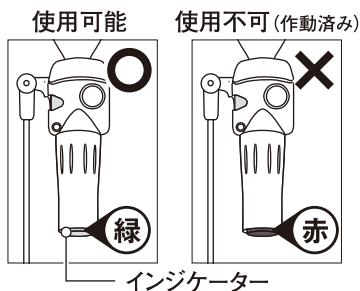
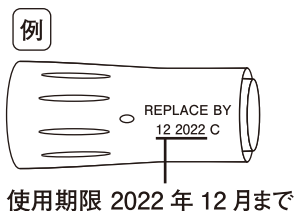
- 充気装置本体にロックピン(緑色)が装着されていることを確認します。ロックピンが外れ、赤色の表示が見えている場合は、交換が必要です。

※ロックピンにヒビや欠けがある場合も交換が必要です。



着水感知センサー：使用期限内で、インジケーターが緑色であることを確認します。

- 使用期限を確認します。期日を過ぎている場合は、未使用であっても交換が必要です。
- インジケーターの色を確認します。赤色を示す場合は交換が必要です。
- 交換の必要がある場合は、着水感知センサーを取り外します。



9



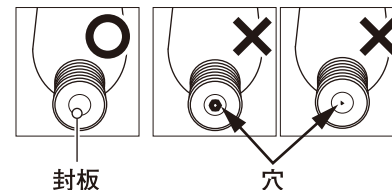
外す

ガスカートリッジ：封板に穴が開いていないことを確認します。

- ガスカートリッジを図のように回して取り外します。
- ガスカートリッジの封板に穴が開いていないことを確認します。穴が空いている場合は、大きさに関わらず新品と交換してください。
- 穴が無い場合は、再度取り付けます。

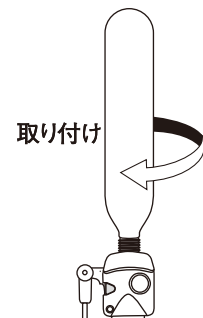


外す



封板

穴

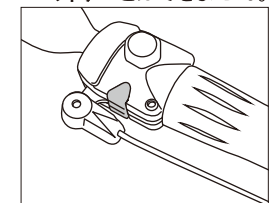
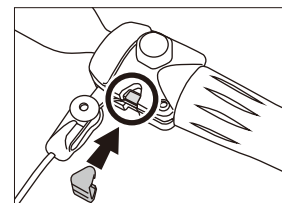
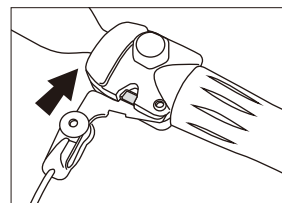


取り付け

2 ロックピンの取り付け方法 ※図は着水感知センサー、ガスカートリッジが装着された状態で説明しています。

- ⚠ ロックピンは一度取り付けると、破損しない状態で取り外すことはできません。引き紐を引き、手動レバーを作動させることで、ロックピンが外れ(破壊され)、赤色を表示する仕組みになっています。誤って引き紐を引き、手動レバーを作動させてしまった場合は、新しいロックピン(別売)を取り付けてください。

- 手動レバーを充気装置本体に収納します。
- 新しいロックピンを図の位置に取り付けます。カチッと音がするまで差し込んでください。
- 完成図。※一度取り付けると外すことはできません。

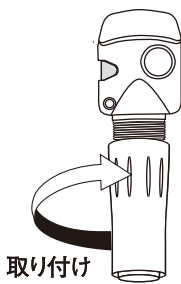


3 着水感知センサーとガスカートリッジの取り付け方法

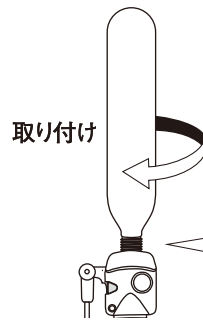
- ⚠ 作動済みの着水感知センサーが充気装置本体に装着したままになっていないか、再度確認してください。そのまま新しいガスカートリッジを取り付けると、ガスカートリッジの封板に穴が開き、再度交換が必要です。

- ⚠ ガスカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用の「交換用ガスカートリッジ 33g」を使用してください。容量が異なるもの、容量が同じでも他社製品は絶対に使用しないでください。正しく作動しない恐れがあります。

- 新しい着水感知センサーを図のように回して装着します。装着の際はしっかり奥までねじ込んでください。
- 新しいガスカートリッジを図のように回して装着します。装着の際はしっかり奥までねじ込んでください。



取り付け



取り付け



※奥までねじ込んでも、ねじ山は完全に隠れません。

10

■ 本製品のテスト方法

本製品の機能が正しく発揮されるために、安全な条件のもとで少なくとも一度は練習を行い、正しい使用方法を習得されることをお勧めします。

- ①正しく充気装置が取り付けられた本製品を、正しく着用します。
- ②手動膨脹の場合：右手で引き紐を右方向へ強く引きます。浮力体が膨脹することを確認してください。
自動膨脹の場合：水の中に入り、浮力体が膨脹することを確認してください。
- ③足が付く穏やかな水流や静水で図 A のように浮かびます。図のような姿勢が取れ、顔が水面から出ることを確認してください。



- ④テスト後は本製品を完全に乾かします。ガスカートリッジ（別売）、着水感知センサー（別売）を交換してください。
※手動膨脹機能を作動させた場合は、ロックピン（別売）も交換してください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 塩分や汚れは、水に濡らしたタオル、または中性洗剤を含ませたタオルで拭き取ってください。拭き取り後は風通しの良い場所で陰干しし、十分に乾燥させてください。
- 中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。
- はっ水スプレー、防サビスプレーなどの溶剤を塗布しないでください。着水感知センサーが正常に作動しなくなる恐れがあります。
- 漂白剤やシンナー、アルコールなどの薬品で洗浄しないでください。
- 洗濯機での洗浄、乾燥、ドライクリーニングは絶対にしないでください。
- 浮力体の表面を傷つけないように注意してください。
- 漬け込み洗いをしないでください。浮力体内部に水が浸入する恐れがあります。

海で落水したときなど、やむを得ず丸洗いする必要がある場合は、下記の手順で行ってください。

- ①使用済みのガスカートリッジと着水感知センサーは装着したままにします。
- ②送気管に確実にキャップを装着してください。
- ③浮力体内部に水が浸入しないように流水で優しく洗い流します。
- ④水洗い後は、風通しの良い場所で陰干しし、時間をかけて十分に乾燥させます。

■ 保管方法

- 使用後はよく乾かしてから保管してください。
- 直射日光を避け、塩害のない風通しの良い乾燥した場所に保管してください。
- 直射日光のあたる庭の物置や車のトランクなど高温になる場所に保管しないでください。変形や損傷の原因になります。
- 暖房器具や火気のある所に保管しないでください。変形や損傷の原因になります。
- 湿気の多い場所や雨ざらしになる場所に放置しないでください。カビ、サビが発生する恐れがあります。また、着水感知センサーが水分を感知して浮力体が誤作動する恐れがあります。
- 本製品の上に重いものを置いたり、鋭利なものを近づけないでください。浮力体や充気装置が破損する恐れがあります。
- 燃料やオイル、溶剤などと一緒に保管しないでください。生地を傷める恐れがあります。
- 長期間保管する場合は、ハンガー等に吊り下げて保管してください。

■ 廃棄方法

- 本製品を使用しなくなった場合は、以後使用されることが無いように表地を切るなどして廃棄してください。
- ガスカートリッジをはじめ、各部品の廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ オプション（別売） 本製品の消耗品は下記製品を使用してください。

- 交換用 ガスカートリッジ 33 g
ガスカートリッジ1本入り。ロックピン 1 個が付属します。
- 交換用 着水感知センサー
着水感知センサー 1 個入り。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。
○本製品の誤った使用方法によるもの ○間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
○乱暴な取り扱いによるもの ○その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの
破損時は弊社にて診断をして、修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様

品番：1132213	浮力：15.0 kg
品名：インフレーション ライフチューブ	ガスカートリッジ容量：33g
主素材：ナイロン	対象サイズ：（身長）140cm以上（胴囲）57～105cm

■ その他

※本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。